

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 新潟県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	佐渡市	佐渡市立相川病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	堀之内病院	26
-	加茂病院	9	魚沼市	小出病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	28
-	小出病院	11	南魚沼市	南魚沼市民病院	29
-	中央病院	12	湯沢町	湯沢病院	30
-	吉田病院	13	津南町	津南病院	31
-	がんセンター	14	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	32
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 松代病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,669 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	51.3	52.9	55.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	51.3	52.9	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	20.4	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,227,383,527	
標準財政規模(千円)	567,332,771	
財政力指数	0.45700	
経常収支比率(‰)	89.3	
健全化	実質赤字比率(‰)	-
判断比率	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	17.5
	将来負担比率(‰)	297.4

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	867,894				
1 経常収益	867,894				
(1) 医業収益	481,606				
(うち修正医業収益)	455,345				
入院収益	275,900				
外来収益	161,049				
診療収入計	436,949				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	44,657				
(うち他会計負担金)	26,261				
(2) 医業外収益	386,288				
(うち国・都道府県補助金)	13,682				
(うち他会計補助・負担金)	354,465				
(うち長期前受金戻入)	9,618				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	834,964				
2 経常費用	834,964				
(1) 医業費用	818,604				
職員給与費	578,651	120.2	60.2	76.8	
材料費	62,170	12.9	25.3	14.4	
(うち薬品費)	22,869	4.7	13.3	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,601	6.6	11.6	6.0	
減価償却費	35,426	7.4	9.0	11.4	
経費	140,056	29.1	22.5	31.5	
(うち委託料)	79,796	16.6	12.5	14.5	
研究研修費	831				
資産減耗費	1,470				
(2) 医業外費用	16,360				
(うち支払利息)	733	0.2	1.2	1.4	
(3) 特別損失	-				
損益	32,930				
純損益	32,930				
累積欠損金	-				
経常収支比率	103.9		105.6	103.4	
医業収支比率	58.8		85.1	74.3	
修正医業収支比率	55.6		82.2	70.1	
他会計繰入金対経常収益比率	43.9		11.3	23.0	
他会計繰入金対医業収益比率	79.1		14.9	34.1	
他会計繰入金対総収益比率	43.9		11.2	22.9	
実質収益対経常費用比率	58.3		93.6	79.7	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,856	380,726
資本勘定繰入	18,845	11,028
計	376,701	391,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 柿崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,492 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	55	67.7	60.5	73.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	67.7	60.5	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.5	23.6	25.7

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 17.5 297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,082,734			
1 経常収益	1,082,734			
(1) 医業収益	637,251			
(うち修正医業収益)	603,670			
入院収益	393,712			
外来収益	194,320			
診療収入計	588,032			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	49,219			
(うち他会計負担金)	33,581			
(2) 医業外収益	445,483			
(うち国・都道府県補助金)	3,100			
(うち他会計補助・負担金)	422,946			
(うち長期前受金戻入)	8,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,040,506			
2 経常費用	1,040,506			
(1) 医業費用	1,017,922			
職員給与費	678,464	106.5	60.2	76.8
材料費	67,049	10.5	25.3	14.4
(うち薬品費)	23,646	3.7	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,839	5.3	11.6	6.0
減価償却費	48,472	7.6	9.0	11.4
経費	221,529	34.8	22.5	31.5
(うち委託料)	99,139	15.6	12.5	14.5
研究研修費	1,335			
資産減耗費	1,073			
(2) 医業外費用	22,584			
(うち支払利息)	581	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	42,228			
純損益	42,228			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		105.6	103.4
医業収支比率	62.6		85.1	74.3
修正医業収支比率	59.3		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	42.2		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	71.6		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	42.2		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	60.2		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一 負債	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ 一 負債	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	429,756	456,527
資本勘定繰入	20,063	8,304
計	449,819	464,831

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 津川病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	67	47.1	44.5	47.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	67	47.1	44.5	47.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	19.9	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,227,383,527	
標準財政規模(千円)	567,332,771	
財政力指数	0.45700	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.5
	将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,235,472			
1 経常収益	1,235,472			
(1) 医業収益	642,796			
(うち修正医業収益)	586,791			
入院収益	360,149			
外来収益	215,292			
診療収入計	575,441			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67,355			
(うち他会計負担金)	56,005			
(2) 医業外収益	592,676			
(うち国・都道府県補助金)	1,219			
(うち他会計補助・負担金)	563,057			
(うち長期前受金戻入)	13,825			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,186,187			
2 経常費用	1,186,187			
(1) 医業費用	1,161,535			
職員給与費	741,587	115.4	60.2	76.8
材料費	67,270	10.5	25.3	14.4
(うち薬品費)	22,707	3.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,756	5.7	11.6	6.0
減価償却費	49,294	7.7	9.0	11.4
経費	292,430	45.5	22.5	31.5
(うち委託料)	111,495	17.3	12.5	14.5
研究研修費	1,420			
資産減耗費	9,534			
(2) 医業外費用	24,652			
(うち支払利息)	516	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	49,285			
純損益	49,285			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.2		105.6	103.4
医業収支比率	55.3		85.1	74.3
修正医業収支比率	50.5		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	50.1		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	96.3		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	50.1		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	52.0		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	582,782	619,062
資本勘定繰入	19,821	12,532
計	602,603	631,594

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 新潟県
市町村・組合名				
病院名	妙高病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	5,084 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	56	57.3	61.3	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	57.3	61.3	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.0	25.4	24.7

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,097,312			
1 経常収益	1,097,312			
(1) 医業収益	581,442			
(うち修正医業収益)	546,608			
入院収益	333,373			
外来収益	195,562			
診療収入計	528,935			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,507			
(うち他会計負担金)	34,834			
(2) 医業外収益	515,870			
(うち国・都道府県補助金)	1,171			
(うち他会計補助・負担金)	491,925			
(うち長期前受金戻入)	16,233			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,043,267			
2 経常費用	1,043,267			
(1) 医業費用	1,021,441			
職員給与費	680,482	117.0	60.2	76.8
材料費	70,537	12.1	25.3	14.4
(うち薬品費)	24,954	4.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,359	6.3	11.6	6.0
減価償却費	51,026	8.8	9.0	11.4
経費	213,494	36.7	22.5	31.5
(うち委託料)	97,593	16.8	12.5	14.5
研究研修費	1,257			
資産減耗費	4,645			
(2) 医業外費用	21,826			
(うち支払利息)	841	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	54,045			
純損益	54,045			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.2		105.6	103.4
医業収支比率	56.9		85.1	74.3
修正医業収支比率	53.5		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	48.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	90.6		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	48.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	54.7		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	505,281	526,759
資本勘定繰入	23,169	18,103
計	528,450	544,862

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名 リウマチセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	100	66.5	71.1	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	66.5	71.1	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	17.6	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,227,383,527	
標準財政規模(千円)	567,332,771	
財政力指数	0.45700	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.5
	将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,007,162			
1 経常収益	2,007,162			
(1) 医業収益	1,485,012			
(うち修正医業収益)	1,485,012			
入院収益	956,554			
外来収益	501,574			
診療収入計	1,458,128			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	26,884			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	522,150			
(うち国・都道府県補助金)	5,421			
(うち他会計補助・負担金)	400,204			
(うち長期前受金戻入)	105,368			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,986,797			
2 経常費用	1,986,797			
(1) 医業費用	1,956,224			
職員給与費	1,066,260	71.8	60.2	66.7
材料費	488,252	32.9	25.3	17.8
(うち薬品費)	380,465	25.6	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	88,373	6.0	11.6	9.2
減価償却費	124,820	8.4	9.0	10.4
経費	252,054	17.0	22.5	28.7
(うち委託料)	138,123	9.3	12.5	13.3
研究研修費	12,177			
資産減耗費	12,661			
(2) 医業外費用	30,573			
(うち支払利息)	1,231	0.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	20,365			
純損益	20,365			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		105.6	105.7
医業収支比率	75.9		85.1	80.6
修正医業収支比率	75.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	19.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	80.9		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	364,603	400,204
資本勘定繰入	19,910	9,421
計	384,513	409,625

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		坂町病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	148	54.6	63.3	76.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	54.6	63.3	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	19.3	19.9

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,803,482			
1 経常収益	2,803,482			
(1) 医業収益	1,757,049			
(うち修正医業収益)	1,689,074			
入院収益	1,015,598			
外来収益	626,252			
診療収入計	1,641,850			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	115,199			
(うち他会計負担金)	67,975			
(2) 医業外収益	1,046,433			
(うち国・都道府県補助金)	794,563			
(うち他会計補助・負担金)	171,710			
(うち長期前受金戻入)	68,731			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,709,515			
2 経常費用	2,709,515			
(1) 医業費用	2,648,588			
職員給与費	1,725,032	98.2	60.2	66.7
材料費	304,327	17.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	131,147	7.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	152,619	8.7	11.6	9.2
減価償却費	126,872	7.2	9.0	10.4
経費	483,246	27.5	22.5	28.7
(うち委託料)	211,267	12.0	12.5	13.3
研究研修費	3,582			
資産減耗費	5,529			
(2) 医業外費用	60,927			
(うち支払利息)	15,822	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	93,967			
純損益	93,967			
累積欠損金	5,942,521			
経常収支比率	103.5		105.6	105.7
医業収支比率	66.3		85.1	80.6
修正医業収支比率	63.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	8.5		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	94.6		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	165,578	239,685
資本勘定繰入	169,262	157,389
計	334,840	397,074

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名		六日町病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	2,967,357			
経常収支比率	-		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,090	-
資本勘定繰入	60,420	6,811
計	65,510	6,811

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名			
病院名	小出病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	-	-	9.0	9.2
経費	-	-	22.5	21.2
(うち委託料)	-	-	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	665,731			
経常収支比率	-		105.6	106.9
医業収支比率	-		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	-		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,843	-
資本勘定繰入	16,340	13,774
計	18,183	13,774

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名
				新潟県
市町村・組合名				
病院名	中央病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	37,305 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	524	74.3	74.2	83.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	1.2	-
計	530	73.4	73.4	82.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.1	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,227,383,527	
標準財政規模(千円)	567,332,771	
財政力指数	0.45700	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.5
	将来負担比率(%)	297.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,337,962			
1 経常収益	18,337,962			
(1) 医業収益	15,252,029			
(うち修正医業収益)	14,884,469			
入院収益	9,456,824			
外来収益	5,239,579			
診療収入計	14,696,403			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	555,626			
(うち他会計負担金)	367,560			
(2) 医業外収益	3,085,933			
(うち国・都道府県補助金)	1,358,179			
(うち他会計補助・負担金)	958,445			
(うち長期前受金戻入)	614,659			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,837,267			
2 経常費用	16,837,267			
(1) 医業費用	16,380,778			
職員給与費	8,098,773	53.1	60.2	54.0
材料費	5,285,842	34.7	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,045,598	20.0	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,149,530	14.1	11.6	13.4
減価償却費	893,795	5.9	9.0	8.1
経費	2,060,782	13.5	22.5	19.6
(うち委託料)	1,174,859	7.7	12.5	12.7
研究研修費	18,771			
資産減耗費	22,815			
(2) 医業外費用	456,489			
(うち支払利息)	187,936	1.2	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	1,500,695			
純損失	1,500,695			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.9		105.6	105.8
医業収支比率	93.1		85.1	89.1
修正医業収支比率	90.9		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	7.2		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	101.0		93.6	97.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一時借入金	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リース債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,129,594	1,326,005
資本勘定繰入	1,078,903	1,363,972
計	2,208,497	2,689,977

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名	
			新潟県	
市町村・組合名				
病院名	吉田病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	17,771 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	19	指定病院の状況	救臨輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	199	38.3	39.3	41.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	38.3	39.3	41.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.6	17.6

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化	
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,743,629			
1 経常収益	2,743,629			
(1) 医業収益	2,273,552			
(うち修正医業収益)	2,159,730			
入院収益	1,015,790			
外来収益	1,082,492			
診療収入計	2,098,282			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	175,270			
(うち他会計負担金)	113,822			
(2) 医業外収益	470,077			
(うち国・都道府県補助金)	34,879			
(うち他会計補助・負担金)	342,809			
(うち長期前受金戻入)	62,923			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,572,183			
2 経常費用	3,572,183			
(1) 医業費用	3,403,390			
職員給与費	1,943,444	85.5	60.2	66.7
材料費	532,113	23.4	25.3	17.8
(うち薬品費)	323,190	14.2	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,428	8.5	11.6	9.2
減価償却費	199,340	8.8	9.0	10.4
経費	715,041	31.5	22.5	28.7
(うち委託料)	344,094	15.1	12.5	13.3
研究研修費	4,687			
資産減耗費	8,765			
(2) 医業外費用	168,793			
(うち支払利息)	5,310	0.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-828,554			
純損失	-828,554			
累積欠損金	15,512,462			
経常収支比率	76.8		105.6	105.7
医業収支比率	66.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	63.5		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	16.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	64.0		93.6	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	429,835	456,631
資本勘定繰入	105,271	64,171
計	535,106	520,802

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			新潟県
市町村・組合名			
病院名	県央基幹病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,227,383,527	
標準財政規模(千円)	567,332,771	
財政力指数	0.45700	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	17.5
	将来負担比率(%)	297.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	47,084			
1 経常収益	47,084			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	47,084			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	47,084			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	47,084			
2 経常費用	47,084			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	-
材料費	-	-	25.3	-
(うち薬品費)	-	-	13.3	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	-
減価償却費	-	-	9.0	-
経費	-	-	22.5	-
(うち委託料)	-	-	12.5	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	47,084			
(うち支払利息)	-	-	1.2	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	100.0
医業収支比率	-		85.1	-
修正医業収支比率	-		82.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	100.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	-
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	100.0
実質収益対経常費用比率	-		93.6	-

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一ス債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リ一ス債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	47,084
資本勘定繰入	737,698	1,106,548
計	737,698	1,153,632

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 新潟県
市町村・組合名				
病院名	燕労災病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	19,926 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	15	指定病院の状況	救 地 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	300	64.3	62.7	71.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	64.3	62.7	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.5	18.7

設立団体の状況	
人口(人)	2,201,272
決算規模(千円)	1,227,383,527
標準財政規模(千円)	567,332,771
財政力指数	0.45700
経常収支比率(%)	89.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	17.5
将来負担比率(%)	297.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	765,141			
1 経常収益	749,496			
(1) 医業収益	120,570			
(うち修正医業収益)	13,857			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	120,570			
(うち他会計負担金)	106,713			
(2) 医業外収益	628,926			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	139,759			
(うち長期前受金戻入)	193,694			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,645			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	747,890			
2 経常費用	747,890			
(1) 医業費用	451,311			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	193,507	160.5	9.0	9.2
経費	257,618	213.7	22.5	21.2
(うち委託料)	14,090	11.7	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	186			
(2) 医業外費用	296,579			
(うち支払利息)	1,105	0.9	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	100.2		105.6	106.9
医業収支比率	26.7		85.1	85.8
修正医業収支比率	3.1		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	32.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	204.4		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	32.2		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	67.3		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	102,359,563
1 固定資産	85,253,798
(1) 有形固定資産	79,940,534
(2) 無形固定資産	27,295
(3) 投資その他の資産	5,285,969
2 流動資産	17,105,765
(1) 現金及び預金	5,055,289
(2) 未収金及び未収収益	11,653,616
(3) 貸倒引当金()	233,619
(4) 貯蔵品	331,000
3 繰延資産	-
負債合計	104,344,195
1 固定負債	70,415,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	62,672,359
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,045,387
(7) 一時的債務	697,783
2 流動負債	17,461,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,752,543
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,123,113
(6) リース債務	265,705
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	8,668,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,467,297
(1) 長期前受金	33,644,867
(2) 長期前受金収益化累計額()	17,177,570
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,984,632
1 資本	28,989,019
2 剰余金	-30,973,651
(1) 資本剰余金	937,683
(2) 利益剰余金	-31,911,334
負債・資本合計	102,359,563
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,984,632
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	135,782	246,472
資本勘定繰入	102,347	272,716
計	238,129	519,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	53.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名
				新潟県
市町村・組合名	新潟市			
病院名	新潟市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透 未訓カ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	58,109 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	652	77.0	76.1	86.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	16	27.5	27.8	38.6
感染症	8	92.4	84.1	-
計	676	76.0	75.0	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.5	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	789,275	
決算規模(千円)	438,857,264	
標準財政規模(千円)	244,031,477	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	124.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,029,504			
1 経常収益	26,017,113			
(1) 医業収益	21,409,100			
(うち修正医業収益)	20,643,716			
入院収益	14,525,025			
外来収益	5,725,332			
診療収入計	20,250,357			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,158,743			
(うち他会計負担金)	765,384			
(2) 医業外収益	4,608,013			
(うち国・都道府県補助金)	1,471,097			
(うち他会計補助・負担金)	1,822,807			
(うち長期前受金戻入)	1,075,798			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,391			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,570,259			
2 経常費用	26,550,794			
(1) 医業費用	25,004,119			
職員給与費	12,123,547	56.6	60.2	54.0
材料費	7,119,212	33.3	25.3	29.9
(うち薬品費)	3,595,350	16.8	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,523,862	16.5	11.6	13.4
減価償却費	1,973,836	9.2	9.0	8.1
経費	3,689,503	17.2	22.5	19.6
(うち委託料)	2,422,326	11.3	12.5	12.7
研究研修費	70,092			
資産減耗費	27,929			
(2) 医業外費用	1,546,675			
(うち支払利息)	359,856	1.7	1.2	1.0
(3) 特別損失	19,465			
損益	-533,681			
純損益	-540,755			
累積欠損金	5,552,228			
経常収支比率	98.0		105.6	105.8
医業収支比率	85.6		85.1	89.1
修正医業収支比率	82.6		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	88.2		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,161,847
1 固定資産	18,870,091
(1) 有形固定資産	17,865,491
(2) 無形固定資産	484,619
(3) 投資その他の資産	519,981
2 流動資産	11,291,756
(1) 現金及び預金	7,405,304
(2) 未収金及び未収収益	3,819,827
(3) 貸倒引当金()	23,453
(4) 貯蔵品	90,078
3 繰延資産	-
負債合計	28,399,121
1 固定負債	23,143,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,248,536
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,874,635
(7) 一ス債務	20,648
2 流動負債	4,798,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,059,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	716,804
(6) リ一ス債務	9,885
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,904,719
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	457,185
(1) 長期前受金	13,219,687
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,762,502
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,762,726
1 資本金	7,307,820
2 剰余金	-5,545,094
(1) 資本剰余金	7,134
(2) 利益剰余金	-5,552,228
負債・資本合計	30,161,847
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	2,588,191	2,588,191
資本勘定繰入	1,020,080	1,020,080
計	3,608,271	3,608,271

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	見附市		
病院名	見附市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓練
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,283 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	94	78.1	77.8	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	78.1	77.8	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	21.3	20.7

設立団体の状況	
人口(人)	39,237
決算規模(千円)	17,966,844
標準財政規模(千円)	10,318,885
財政力指数	0.57
経常収支比率(%)	94.6
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	10.5
将来負担比率(%)	93.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,192,742			
1 経常収益	2,189,956			
(1) 医業収益	1,794,467			
(うち修正医業収益)	1,758,173			
入院収益	788,947			
外来収益	347,933			
診療収入計	1,136,880			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	657,587			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	395,489			
(うち国・都道府県補助金)	159			
(うち他会計補助・負担金)	279,706			
(うち長期前受金戻入)	79,190			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,786			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,261,641			
2 経常費用	2,261,639			
(1) 医業費用	2,196,353			
職員給与費	1,499,454	83.6	60.2	76.8
材料費	140,675	7.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	64,303	3.6	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,428	1.8	11.6	6.0
減価償却費	184,474	10.3	9.0	11.4
経費	362,650	20.2	22.5	31.5
(うち委託料)	193,891	10.8	12.5	14.5
研究研修費	5,717			
資産減耗費	3,383			
(2) 医業外費用	65,286			
(うち支払利息)	14,460	0.8	1.2	1.4
(3) 特別損失	2			
損益				
経常収支比率	96.8		105.6	103.4
医業収支比率	81.7		85.1	74.3
修正医業収支比率	80.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	14.4		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	82.9		93.6	79.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,600,973
1 固定資産	2,804,615
(1) 有形固定資産	2,793,668
(2) 無形固定資産	10,947
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	796,358
(1) 現金及び預金	128,875
(2) 未収金及び未収収益	660,526
(3) 貸倒引当金()	661
(4) 貯蔵品	7,618
3 繰延資産	-
負債合計	3,789,646
1 固定負債	2,191,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,574,628
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	616,709
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	370,615
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,212
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	82,321
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	199,547
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,227,694
(1) 長期前受金	2,388,670
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,160,976
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-188,673
1 資本	1,252,245
2 剰余金	-1,440,918
(1) 資本剰余金	13,907
(2) 利益剰余金	-1,454,825
負債・資本合計	3,600,973
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	188,673
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	226,728	316,000
資本勘定繰入	15,842	80,000
計	242,570	396,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	81.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	上越市		
病院名	上越地域医療センター病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,956 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	8	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	142	70.7	66.6	81.6
療養	55	80.8	73.5	81.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	73.5	68.5	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.9	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	188,047	
決算規模(千円)	103,971,849	
標準財政規模(千円)	59,546,793	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	67.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,543,623			
1 経常収益	2,543,623			
(1) 医業収益	2,233,556			
(うち修正医業収益)	2,229,960			
入院収益	1,714,180			
外来収益	441,084			
診療収入計	2,155,264			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	78,292			
(うち他会計負担金)	3,596			
(2) 医業外収益	310,067			
(うち国・都道府県補助金)	9,216			
(うち他会計補助・負担金)	190,840			
(うち長期前受金戻入)	77,596			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,664,107			
2 経常費用	2,664,107			
(1) 医業費用	2,586,543			
職員給与費	7,680	0.3	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	119,722	5.4	9.0	10.4
経費	2,457,586	110.0	22.5	28.7
(うち委託料)	2,270,810	101.7	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	1,555			
(2) 医業外費用	77,564			
(うち支払利息)	13,080	0.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-120,484			
純損失	-120,484			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.5		105.6	105.7
医業収支比率	86.4		85.1	80.6
修正医業収支比率	86.2		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.7		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	7.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	88.2		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,759,903
1 固定資産	2,404,835
(1) 有形固定資産	2,389,176
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	15,659
2 流動資産	1,355,068
(1) 現金及び預金	961,912
(2) 未収金及び未収収益	393,156
(3) 貸倒引当金()	23,900
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,456,850
1 固定負債	1,515,351
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,022,091
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	493,260
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	378,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	152,807
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,455
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	107,985
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	563,252
(1) 長期前受金	2,588,418
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,025,166
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,303,053
1 資本金	-
2 剰余金	1,303,053
(1) 資本金剰余金	1,052,000
(2) 利益剰余金	251,053
負債・資本合計	3,759,903
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,436	194,436
資本勘定繰入	74,505	74,505
計	268,941	268,941

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	阿賀野市		
病院名	あがの市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,192 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	16	指定病院の状況	臨 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	196	62.6	68.9	75.2
療養	-	-	-	89.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	62.6	68.9	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	19.8	27.2

設立団体の状況	
人口(人)	40,696
決算規模(千円)	23,279,950
標準財政規模(千円)	13,399,142
財政力指数	0.41
経常収支比率(%)	85.6
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	8.5
将来負担比率(%)	96.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	533,101			
1 経常収益	533,101			
(1) 医業収益	5,508			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	5,508			
(うち他会計負担金)	5,508			
(2) 医業外収益	527,593			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	132,373			
(うち長期前受金戻入)	160,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	797,548			
2 経常費用	749,819			
(1) 医業費用	703,997			
職員給与費	4,892	88.8	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	584,148	10605.4	9.0	10.4
経費	111,638	2026.8	22.5	28.7
(うち委託料)	106,294	1929.8	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	3,319			
(2) 医業外費用	45,822			
(うち支払利息)	43,866	796.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	47,729			
損益				
経常				
純損益	-216,718			
純損益	-264,447			
累積欠損金	8,338,342			
経常収支比率	71.1		105.6	105.7
医業収支比率	0.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	2503.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	25.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	52.7		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,607,769
1 固定資産	6,363,219
(1) 有形固定資産	6,362,687
(2) 無形固定資産	532
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	244,550
(1) 現金及び預金	124,313
(2) 未収金及び未収収益	120,237
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,293,921
1 固定負債	4,767,664
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,767,664
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	199,970
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	189,483
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	10,103
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	326,287
(1) 長期前受金	1,478,166
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,151,879
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,313,848
1 資本金	8,222,190
2 剰余金	-6,908,342
(1) 資本金剰余金	1,430,000
(2) 利益剰余金	-8,338,342
負債・資本合計	6,607,769
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	44,644	137,881
資本勘定繰入	95,937	95,937
計	140,581	233,818

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151386.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名		佐渡市	
病院名		佐渡市立両津病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,097 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	救へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	99	52.5	54.8	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	52.5	54.8	51.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	19.2	17.8

設立団体の状況	
人口(人)	51,492
決算規模(千円)	48,010,193
標準財政規模(千円)	26,762,439
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	91.1
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 12.0 117.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,251,115			
1 経常収益	1,251,115			
(1) 医業収益	1,076,184			
(うち修正医業収益)	1,017,799			
入院収益	611,193			
外来収益	359,946			
診療収入計	971,139			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	105,045			
(うち他会計負担金)	58,385			
(2) 医業外収益	174,931			
(うち国・都道府県補助金)	23,421			
(うち他会計補助・負担金)	122,612			
(うち長期前受金戻入)	10,225			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,320,978			
2 経常費用	1,319,643			
(1) 医業費用	1,278,953			
職員給与費	695,333	64.6	60.2	76.8
材料費	118,199	11.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	37,875	3.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,663	6.7	11.6	6.0
減価償却費	66,388	6.2	9.0	11.4
経費	396,031	36.8	22.5	31.5
(うち委託料)	221,264	20.6	12.5	14.5
研究研修費	1,075			
資産減耗費	1,927			
(2) 医業外費用	40,690			
(うち支払利息)	54	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	1,335			
損益	-68,528			
純損益	-69,863			
累積欠損金	2,654,228			
経常収支比率	94.8		105.6	103.4
医業収支比率	84.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	79.6		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.5		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	81.1		93.6	79.7

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,701,824
1 固定資産	1,340,815
(1) 有形固定資産	1,327,404
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	12,246
2 流動資産	1,361,009
(1) 現金及び預金	1,062,835
(2) 未収金及び未収収益	288,802
(3) 貸倒引当金()	540
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	889,118
1 固定負債	401,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,920
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	396,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,905
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,807
(6) リリース債務	1,904
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	310,619
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,721
(1) 長期前受金	316,265
(2) 長期前受金収益化累計額()	225,544
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,812,706
1 資本金	4,706,454
2 剰余金	-2,893,748
(1) 資本剰余金	1,298,881
(2) 利益剰余金	-4,192,629
負債・資本合計	2,701,824
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	180,922	180,997
資本勘定繰入	10,197	60,896
計	191,119	241,893

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	318.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 新潟県	
市町村・組合名	佐渡市				
病院名	佐渡市立相川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,740 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	52	48.2	59.8	62.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	48.2	59.8	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	51,492
決算規模(千円)	48,010,193
標準財政規模(千円)	26,762,439
財政力指数	0.23
経常収支比率(%)	91.1
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)
	117.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	401,086			
1 経常収益	401,086			
(1) 医業収益	241,014			
(うち修正医業収益)	203,023			
入院収益	113,175			
外来収益	73,342			
診療収入計	186,517			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,497			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	160,072			
(うち国・都道府県補助金)	66,576			
(うち他会計補助・負担金)	87,867			
(うち長期前受金戻入)	882			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	472,495			
2 経常費用	472,486			
(1) 医業費用	461,075			
職員給与費	265,598	110.2	60.2	76.8
材料費	28,207	11.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	10,910	4.5	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,297	7.2	11.6	6.0
減価償却費	35,847	14.9	9.0	11.4
経費	131,121	54.4	22.5	31.5
(うち委託料)	60,296	25.0	12.5	14.5
研究研修費	187			
資産減耗費	115			
(2) 医業外費用	11,411			
(うち支払利息)	1	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	9			
損益				
経常収支比率	84.9		105.6	103.4
医業収支比率	52.3		85.1	74.3
修正医業収支比率	44.0		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	52.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	31.4		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	58.3		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,701,824
1 固定資産	1,340,815
(1) 有形固定資産	1,327,404
(2) 無形固定資産	1,165
(3) 投資その他の資産	12,246
2 流動資産	1,361,009
(1) 現金及び預金	1,062,835
(2) 未収金及び未収収益	288,802
(3) 貸倒引当金()	540
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	889,118
1 固定負債	401,920
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,920
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	396,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,905
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,807
(6) リリース債務	1,904
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	310,619
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,721
(1) 長期前受金	316,265
(2) 長期前受金収益化累計額()	225,544
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,812,706
1 資本金	4,706,454
2 剰余金	-2,893,748
(1) 資本金剰余金	1,298,881
(2) 利益剰余金	-4,192,629
負債・資本合計	2,701,824
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	125,858	125,858
資本勘定繰入	4,670	99,922
計	130,528	225,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	318.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	魚沼市		
病院名	堀之内病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	34,483
決算規模(千円)	32,717,531
標準財政規模(千円)	16,464,182
財政力指数	0.28
経常収支比率(%)	89.7
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	8.3
将来負担比率(%)	19.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,739			
1 経常収益	4,739			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	4,739			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	4,739			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,738			
2 経常費用	4,738			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	4,738			
(うち支払利息)	4,738	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	1			
純損益	1			
累積欠損金	1,041,445			
経常収支比率	100.0		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	-		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,158	4,739
資本勘定繰入	23,457	35,185
計	26,615	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3676.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		新潟県	
市町村・組合名	魚沼市		
病院名	小出病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	14,375 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	13	指定病院の状況	輸
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	90	84.2	92.6	91.2
療養	44	83.2	90.7	91.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	83.9	92.0	91.2
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	19.1	19.3

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	32,717,531	
標準財政規模(千円)	16,464,182	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	19.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	773,972			
1 経常収益	773,615			
(1) 医業収益	41,385			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	41,385			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	732,230			
(うち国・都道府県補助金)	1,000			
(うち他会計補助・負担金)	431,268			
(うち長期前受金戻入)	267,646			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	357			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	871,090			
2 経常費用	871,090			
(1) 医業費用	857,775			
職員給与費	3,388	8.2	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	398,826	963.7	9.0	10.4
経費	419,261	1013.1	22.5	28.7
(うち委託料)	192	0.5	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	36,300			
(2) 医業外費用	13,315			
(うち支払利息)	13,315	32.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-97,475			
純損失	-97,118			
累積欠損金	480,126			
経常収支比率	88.8		105.6	105.7
医業収支比率	4.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	61.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	1142.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	61.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	34.6		93.6	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,299,902
1 固定資産	4,807,606
(1) 有形固定資産	4,806,828
(2) 無形固定資産	778
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	492,296
(1) 現金及び預金	443,489
(2) 未収金及び未収収益	49,179
(3) 貸倒引当金()	372
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,399,703
1 固定負債	3,923,078
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,923,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	327,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	313,925
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	324
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,120
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,149,256
(1) 長期前受金	2,558,523
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,409,267
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-99,801
1 資本金	1,333,321
2 剰余金	-1,433,122
(1) 資本金剰余金	88,449
(2) 利益剰余金	-1,521,571
負債・資本合計	5,299,902
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	99,801
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	465,809	472,653
資本勘定繰入	136,650	233,758
計	602,459	706,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3676.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		津南町			
病院名		津南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,163 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	45	80.8	77.0	70.2
療養	52	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	80.8	77.0	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.4	16.0

設立団体の状況	
人口(人)	8,989
決算規模(千円)	7,737,290
標準財政規模(千円)	4,983,309
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	73.9
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	10.7
将来負担比率(%)	35.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,309,455			
1 経常収益	1,309,382			
(1) 医業収益	1,033,230			
(うち修正医業収益)	997,535			
入院収益	464,637			
外来収益	433,239			
診療収入計	897,876			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	135,354			
(うち他会計負担金)	35,695			
(2) 医業外収益	276,152			
(うち国・都道府県補助金)	11,899			
(うち他会計補助・負担金)	255,003			
(うち長期前受金戻入)	1,697			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	73			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,301,024			
2 経常費用	1,300,939			
(1) 医業費用	1,259,859			
職員給与費	590,480	57.1	60.2	76.8
材料費	121,665	11.8	25.3	14.4
(うち薬品費)	43,920	4.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,184	6.6	11.6	6.0
減価償却費	61,284	5.9	9.0	11.4
経費	484,593	46.9	22.5	31.5
(うち委託料)	138,024	13.4	12.5	14.5
研究研修費	1,238			
資産減耗費	599			
(2) 医業外費用	41,080			
(うち支払利息)	2,455	0.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	85			
損益	8,443			
純損益	8,431			
累積欠損金	1,107,439			
経常収支比率	100.6		105.6	103.4
医業収支比率	82.0		85.1	74.3
修正医業収支比率	79.2		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	22.2		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	28.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	22.2		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	78.3		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	942,310
1 固定資産	562,331
(1) 有形固定資産	562,331
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	379,979
(1) 現金及び預金	197,862
(2) 未収金及び未収収益	175,242
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,846
3 繰延資産	-
負債合計	270,619
1 固定負債	90,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,732
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	57,010
2 流動負債	155,933
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,410
(6) リ一ス債務	27,462
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	81,629
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	23,944
(1) 長期前受金	37,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,492
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	671,691
1 資本金	1,779,130
2 剰余金	-1,107,439
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,107,439
負債・資本合計	942,310
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	157,291	290,698
資本勘定繰入	26,738	26,738
計	184,029	317,436

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		さくら福祉保健事務組合			
病院名		南部郷厚生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,959 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	70	75.2	74.7	77.6
療養	50	72.4	69.7	69.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	74.0	72.6	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		115.4	120.7	143.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	370,509	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	129.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	224,949			
1 経常収益	224,949			
(1) 医業収益	206,269			
(うち修正医業収益)	206,269			
入院収益	116,223			
外来収益	90,046			
診療収入計	206,269			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	18,680			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	17,303			
(うち長期前受金戻入)	1,320			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	223,974			
2 経常費用	223,974			
(1) 医業費用	200,307			
職員給与費	8,148	4.0	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	96,217	46.6	9.0	10.4
経費	95,942	46.5	22.5	28.7
(うち委託料)	68,256	33.1	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	23,667			
(うち支払利息)	22,757	11.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	975			
純損益	975			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		105.6	105.7
医業収支比率	103.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	103.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	7.7		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	92.7		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,106,952
1 固定資産	1,566,637
(1) 有形固定資産	1,566,637
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	540,315
(1) 現金及び預金	499,502
(2) 未収金及び未収収益	40,899
(3) 貸倒引当金()	86
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,154,376
1 固定負債	951,122
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	948,648
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	2,474
2 流動負債	174,416
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	148,807
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	719
(6) リース債務	1,287
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,603
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	28,838
(1) 長期前受金	51,605
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,767
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	952,576
1 資本金	946,640
2 剰余金	5,936
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	5,936
負債・資本合計	2,106,952
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	14,597	17,303
資本勘定繰入	104,224	53,914
計	118,821	71,217

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。